

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第22条の2に示された者）も可とする。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- (4) この大会は、WR k 対象競技会として実施する。ただし、投擲競技では砲丸投、混成競技、リレー競技、競歩競技は除く。

2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。
- (2) 招集時間

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク 競 技 予 選 ・ 準 決 勝	競技開始 3 0 分前	競技開始 1 5 分前
ト ラ ッ ク 競 技 決 勝	競技開始 2 0 分前	競技開始 1 0 分前
走 高 跳	競技開始 7 0 分前	競技開始 6 0 分前
棒 高 跳	競技開始 1 2 0 分前	競技開始 1 1 0 分前
走幅跳・三段跳	競技開始 6 0 分前	競技開始 5 0 分前
砲丸投・円盤投・やり投・ハンマー投	競技開始 7 0 分前	競技開始 6 0 分前

- (3) 招集の手順
 - ① 競技者は出場種目の招集開始時刻に招集所で点呼を受けること。その際、アスリートビブス・競技用靴・衣類・持ち物等の点呼を受けること。スタート地点やピットへの移動は係の指示に従うこと。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
 - ③ 棄権をする競技者は、本人または引率教員が棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
 - ④ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の 1 時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通り受けること。オーダー用紙提出後は変更できない。ケガ等の特別な理由がある場合は本部に申し出る。
大会ドクターかトレーナーの診断を受け、変更を認めることがある。招集時間終了後は変更できない。
 - ⑤ リレー種目で大会ドクターかトレーナーからの診断を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日以降大会に参加する場合は再度大会ドクターかトレーナーの診断を受け出場する事が出来る。
 - ⑥ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。
 - ⑦ 混成競技の招集は、第 1 日及び第 2 日の最初の種目については、前記の招集時刻一覧のとおり招集所で行う。
2 種目目以降は現地で点呼を行う。混成控室は準備する。

3 アスリートビブスについて

- (1) 出場者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。ただし、跳躍競技の競技者は、胸部または背部に付けるだけでもよい。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡された腰ナンバーカードを左右腰や後方につけること。

4 競技について

- (1) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、安全面・気象条件等により変更することもある。

男子走高跳 1.70・1.90(練習) 1.75 1.80 1.85 1.88 (以降3cm)

女子走高跳 1.30・1.50(練習) 1.35 1.40 1.45 1.50 (以降3cm)

男子棒高跳 2.80・3.50・4.30(練習) 2.80 3.00 3.20 3.40 3.60 3.70 (以降10cm刻み)

女子棒高跳 2.00・2.50・3.30(練習) 2.00 2.20 2.40 2.60 2.70 2.80 (以降10cm刻み)

混成競技走高跳 A・Bピットの選択は、競技者が当日現地にて行う。

男子八種 Aピット 1.55(練習) 1.55～(5cm刻み)～1.70 1.73(以後3cm刻み)

Bピット 1.25(練習) 1.25～(5cm刻み)～1.70 1.73(以後3cm刻み)

女子七種 Aピット 1.30(練習) 1.30～(5cm刻み)～1.40 1.43(以後3cm刻み)

Bピット 1.00(練習) 1.00～(5cm刻み)～1.40 1.43(以後3cm刻み)

- (2) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (3) スパイクシューズのピンの使用は9mm以下。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
- (4) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (5) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (6) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (7) リレーに出場のチームは、原則同一のユニフォームを着用する。ただし服装に関しては、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
- (8) 通信機器(携帯電話・トランシーバー等)等の競技場内への持ち込みは禁止する。競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。
- (9) WRk申請競技会につき、対象競技はWA競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
- ・審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
 - ・競技用靴規程に違反して競技を行った場合は失格とする。
- (10) TR4.3は適用する。試技を行うべき順序の際に競技者不在の場合は、試技時間が過ぎたら「パス扱い」とする。
- (11) TR4.4は適用しない。参加の拒否は適用しない。
- (12) TR6.4.5は適用する。ビデオ等を見せる場合は、安全且つ競技運営に支障のない場所で各チームが準備したひもやかご等の道具を使って録画機器を受け渡しすることができる。ただし、安全には十分配慮すること。また、機器の破損等が生じた場合、主催者は一切の責任を負わない。なお、機器の投げ渡しや身を乗り出しての危険な状態での受け渡しは認めない。
- (13) TR8.4・TR8.5は適用しない。トラック種目のスタートに関する現場での抗議及びフィールド種目の現場での抗議は認めない。
- (14) TR20.4は適用する。シードレーンは適用する。
- (15) 抗議と上訴について
- ・競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。(大型スクリーン表示終了時刻を基準とする。)抗議者は抗議担当総務員に申し出ること。
 - ・抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、当該競技者の監督により預託金10,000円を添えて「上訴申立書」を抗議担当総務員を通して Jury に提出されなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、当該種目の結果が変更された場合は、その結果が公式に発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかった

場合は抗議者に対して、その旨が通告されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、当該競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は「同着」としてレーンに余裕がある場合には、次のラウンドに進出する。レーンに余裕がない場合は抽選とする。ただし、1500m以上の長距離種目で同記録者(0.001秒単位の時間まで同記録)は全員次のラウンドに進出できる。
- (2) 抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は本部が代理で行う。対象者は特にアナウンスに注意すること。

6 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2) 棒高跳用ポールは個人持参の物の使用を認める。男女やりについては、個人持参の物を主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3) 検査は、第4ゲート用器具倉庫にて時間(通告する)を決めて行う。

7 練習について

- (1) フィールド競技(ハンマー投を除く)の練習は、招集後に競技役員の指示により本競技場内で行う。
- (2) 投てき競技(ハンマー投を除く)の練習は、本競技場内のみとし、本競技場外での練習は厳禁とする。
- (3) ハンマー投の練習は、投てき練習場で行う。(男子の招集完了までは男子、女子の招集完了までは女子とする)投てき練習場には競技者及び引率者以外は立ち入らないこと。ハンマー投は、本競技場で公式練習を2回行う。
- (4) 投てき競技に出場する競技者は、事故防止に十分に注意すること。
- (5) 補助競技場でメディシンボールなどの投てき物を使った練習は禁止する。

8 表彰について

- (1) 表彰は行う。第3位までの入賞者に賞状を渡す。被表彰者は、決勝終了後係の指示で被表彰者控室(本部横)に行き指示を受ける。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までを表彰する。閉会式で表彰を行う。
- (3) 入賞者の得点、1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とする。

9 北九州地区予選大会について

本大会において上位6位以内の競技者については、6月13日(金)～16日(月)SAGAスタジアムで開催される全国高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権北九州地区予選会の出場権を得る。男女走高跳、男棒高跳は6位までの入賞者6名とする。男女競歩競技は上位5位まで、男女混成競技・女子三段跳・女子ハンマー投については上位4位までとする。女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。

10 その他

- (1) 各校の応援用横断幕は、メインスタンドには張らないこと。のぼり旗についてはメインスタンド最上部後方フェンスにくくりつけてもよい。
- (2) フィールド競技を行っている際はその付近での応援は禁止する。
- (3) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。
100mゴール付近の更衣室のみ利用可。
- (4) ゴミについては、各学校・個人で責任を持って持ち帰ること。氷も同様とする。ただし氷の廃棄は100mスタート地点付近とゴール地点にある足洗い場は許可する。